

質問回答

2018年12月17日

【案件名】モーリシャス国気象観測及び予警報能力向上プロジェクト

(公示日:2018年12月5日 / 公示番号:180463) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 第3章 5. 実施方針及び留意事項 (8) プロジェクトの事業管理・評価・モニタリング (P16)	本プロジェクトでは6か月毎に Monitoring Sheet を JICA マダガスカル事務所に提出する事となっていますが、事務所で口頭説明を実施するという理解でよろしいでしょうか。また、それ以外のタイミングで事務所を訪問する必要はありますでしょうか。	Monitoring Sheet についてはメールで提出いただくとともに、そのタイミングでマダガスカル事務所にて総括からの報告をお願いします。それ以外の進捗報告等の方法についてはメールもしくは電話ベースを主としますが、マダガスカル事務所のモーリシャス渡航時などのタイミングでも報告いただく予定です。
2	業務指示書 第3章 5. 実施方針及び留意事項 (9) 仙台防災枠組における本プロジェクトの位置付けと成果発信 (P18)	2019年(ジュネーブ)、2021年のグローバルプラットフォーム、2020年の地域プラットフォームが開催予定とありますが、本プロジェクトは仙台防災枠組に沿ったものであることから、コンサルタントおよびMMS側C/Pの同プラットフォームへの参加が必要でしょうか。 もし参加が必要な場合でも、開催地及び航空賃が不明であるため積算しなくてもよろしいでしょうか。積算が必要な場合は、必要な情報をご提示下さい。	グローバルプラットフォームおよび地域プラットフォームのMMS側C/Pの参加については、モーリシャス政府の方針次第なので、現時点で不明です。コンサルタントの参加は、上記の状況次第ですが、現時点で必須と想定していませんので、プロポーザルでの費用計上は不要です。
3	業務指示書 第3章 5. 実施方針及び留意事項 (12) 他援助機関・国際機関との	UNDP、Meteo France 等他援助機関との協議、意見交換がモ国現地できない可能性もあるかと思えます。その場合はメールおよび電話での情	他援助機関との意見交換は、現地で実施できない場合、メール等の遠隔的な方法での実施を想定しています。必要に応じて、マダガスカル事務

	情報共有・連携(P19)	報交換も可でしょうか。	所からコンタクト先を共有することも可能です。
4	業務指示書 第3章 6. 業務の内容 (3) 成果2に係る活動【気象レーダーについて】(P25)	プロジェクト開始後、レーダーの瑕疵担保期間中にレーダーの改修作業が発生した場合、改修スケジュールについて製造メーカーから常に最新の情報を頂くことは可能でしょうか。	施主であるMMSと相談の上でスケジュールの提供は可能ですが、提供方法については、改修作業が発生した際の状況に応じて検討・協議します。

以上